

ふれあい たまこ

「ふれあいたまこ」は多摩湖町福祉協力委員会の広報紙です。
年2回(9月・3月)発行し、多摩湖町の全戸に配布しています。

第64号

令和7年(2025年)9月

発行：多摩湖町福祉協力委員会

連絡：東村山市社会福祉協議会
東村山市野口町 1-25-15
(Tel.394-6333)

地区長になって — 交流の場を広げ楽しく住める町にしていきたい —

令和7年度4月より、多摩湖町福祉協力委員会 地区長をさせて頂くことになりました、
多摩湖町1丁目石橋歌子です。宜しくお願い致します。

福祉協力委員会は、昭和52年4月設立で、本年度で48年になります。長い歴史の中、時代に合わせた活動を重ねてきました。その母体である社会福祉協議会は、地域住民や様々な団体等と連携・協働しながら、支え合いの地域づくり「一人ぼっちのない町」を目指しています。これをモットーにして、私たちは参加型の事業を考え活動しています。楽しく、気軽に参加できるイベントに、協力員全員が取り組んでいます。その都度、チラシで全戸配布、掲示板などでお知らせします。

協力員会行事をご案内させていただきます。「多摩湖ふれあいカフェ」毎月第4月曜日お茶を飲みながらおしゃべり、時には健康に役立つお話し会などもあります。手芸サロン「ひまわり」、毎月第2月曜日に活動しています。広報活動として年2回「ふれあいたまこ」を発行しています。「地域の方々のための講座」「お楽しみ会」体験型イベントを計画しています。イオン移動販売見守り活動では、買い物に来られた方々と話をして情報交換など出来れば良いと考えます。長寿を祝う会は昨年度より「健やか敬老事業」となり、多摩湖町オリジナル企画記念品を対象者にお届けします。地域団体行事にも協力して参加します。多摩湖ふれあいセンター主催「センターまつり」「餅つき大会」、自治会主催「多摩湖町ハロウィンまつり」「桜まつり」独自のブースで出店参加しています。地域推進委員会の介護予防大作戦では「ふれあい護美プロジェクト」に協力しています。「白十字ボランティア」では、クリスマス会、お正月の飾りなどを作製しています。福祉協力員の研修なども行い、協力員どうしの懇親も深めています。

多くの方々に参加して頂き、交流の場を広げ楽しく住める町にしていきたいと思っています。協力員として、活動して頂ける方々を、いつでも受け入れています。お気軽にお声かけしてください。お待ちしております。
(石橋 歌子)

今後の活動予定

- 9月 健やか敬老事業記念品手配り
- 10月 ふれあいセンターまつり
- 10月 多摩湖町ハロウィンまつり
- 11月 ふれあい護美プロジェクト
- 12月 餅つき大会
- 2月 eスポーツ体験会
- 3月 お楽しみ会(予定)

令和 6 年 9 月 回田小学校「まち探検」

回田小学校 2 年生の「まち探検」の付き添いに協力しました。10 時頃に中庭に集合し、方面別に出発しました。協力して頂いたお店・施設は 13 軒です。主に子ども達の安全確保に注意しながら目的地に到着後、挨拶し、子ども達が一人ずつ質問し、答えて頂き、貴重な経験をしました。事故もなく無事学校に戻りました。(増子 正子)



令和 6 年 12 月 白十字ホームボランティア

白十字ホームの入居者の方やデイサービスに来られる八国苑の方のクリスマス会や、お正月のイベント用に「ランチョンマット」や「おみくじ」を作っています。入居者の方にはお会いできませんが、喜んで頂ける様に北部（多摩湖町、廻田町、野口町、諏訪町）の方々と楽しく製作しています。(石橋 三枝子)



令和 7 年 1 月 北山小学校「昔遊び」

1 月中旬、白い息を吐きながら昔遊びのお手伝いの為、北山小学校体育館に集合しました。館内には年長者なら一度は手にした事のありそうな品々が並べられ、私達は子供達がその全てを体験できる様に見守りと補助を担当しました。(小澤 道子)



令和 7 年 2 月 地域の方々のための講座「e スポーツ体験会」

当日は 3 歳～80 歳の来場者 32 名の笑い声と歓声に包まれた和やかな体験会でした。

e スポーツとは？：電子機器を使った娯楽をスポーツ競技としてとらえる際の名称です。今回は太鼓ゲーム、文字埋めパズル、ボーリング・バドミントン・バスケット等動きのあるゲームなどを使って、多世代交流に繋がる場を作ろうと体験会を企画しました。一人で来て最初から最後まで参加してくれた小学生が「いろんな大人の人が、一緒にやろうと声をかけてくれたのが楽しかった」と話してくれ、担当者として嬉しかったです。(泉 マヤ)

< 共催：とんぼ会(東村山 e スポーツ振興・推進団体) >



令和 7 年 3 月 日本文化の「お楽しみ会」

第一部は、多摩湖寿会によるスポーツ吹矢から始まりました。体験も出来おごそかに行われました。次に、「たま古娘一座」による玉すだれが行われ、お見事盛り上がりしました。いよいよ第二部の始まりです。北部包括による紙芝居にお子様も、私達も懐かしい紙芝居に夢中でした。そして、お待ちかねのお抹茶体験。お子様と一緒に母様がお飲みになっていらっしまったのが、印象的でした。多数のご参加を頂き、大盛況に終了致しました。ご協力いただきました団体の方々、ご出演下さいました皆様に心より感謝申し上げます。(田口 美知子)



多摩湖町を歩いてみるシリーズ②

村山上貯水池・村山下貯水（通称多摩湖）

— 縄文時代・奈良・平安時代の多摩湖とその周辺 その7 —

昭和50年・51年の遺跡分布調査によると東大和市域は3つの分布区域となっている。多摩湖遺跡群はそのうちのひとつで36ヶ所の遺跡が確認されている。その分布の多さも旧宅部川に沿った湖底の地域が古い時代から東大和市の一つの中心地であった事が分かる。谷の中で風は少なく台地の緑のあちこちに泉の湧く湖底はまさに桃源郷のような趣をもった土地であった。

I 縄文時代早期の遺跡と遺物（約7,000年～8,000年前）

九州から土器を作る技術が日本列島に広がる土器は食物を煮沸するための容器として発明され、人類の歴史を大きく変えるきっかけとなった。縄文時代の開始である。東大和地域でもその傾向が良く現われ、小高い丘陵や尾根の上の小遺跡が多く見られたが、安定した集落は持っていなかった。その数も多摩湖にあるという傾向を示している。

II 縄文時代前期の遺跡と遺物（約5000年～7,000年前）

前期もまた多摩湖内に多いという傾向も早期とよく似ているため、しばらくの間（500～600年間）東大和市域にも多摩湖遺跡群にも空白の期間があった。こうしたことは縄文時代早期から前期にかけてのことだけでなく、土器の型式を細かくみると初めから終わりまで一貫して連続と生活の遺跡が続いていたということは東大和市域の考古学的資料でも見られていない。

III 縄文時代中期の遺跡と遺物（約4,000年～5,000年前）

東大和市域が最も石器時代に賑やかな生活の舞台となっていたのは、この中期である。当時東大和の54の遺跡には縄文人は何らかの生活の痕跡を残している。多摩湖内は21ヶ所、多摩湖以外の土地に33ヶ所である。広く市域全体に生活領域が拡散していること示している。狭山丘陵の南斜面にある諏訪山遺跡には、昭和41年に西武団地の宅地造成工事の際土器や石器が出土し、焼土や集石の見られる場所が10数ヶ所あった。それらは住居跡のあった頃と考えられるが、そのうち6ヶ所が竪穴住居跡として確認されている。

IV 縄文時代後期の遺跡と遺物（約3,000年～4,000年前）

54ヶ所の遺跡を残した前項Ⅲの中期が終わると、東大和市域の遺跡はかき消すように少なくなっていった。この後期の遺跡は僅か5ヶ所で、辛うじて型式認定の出来る土器が若干発見されているだけである。更に弥生時代、古墳時代に入るとついに東大和市内では全く遺跡が消滅していた。

V 奈良・平安時代の遺跡と遺物（約1,000年～1,300年前）

この時代の土器、土師器（主に煮炊きや食器など赤っぽい色）・須恵器（貯蔵や食器など青灰色で硬い）の遺跡が、狭山市清水の上の台遺跡では竪穴住居跡が発見されている。この時代に何故か生活がこの地によみがえってきた。それは農業の技術が進み、鉄の農具が普及して、武蔵野地方にも開拓の鋤が入ってきたことによるものである。



石斧

令和6年度福祉協力員バス研修

令和6年10月21日(月)



参加者14名で、ふれあいセンターを出発し、築地本願寺～築地場外市場を散策後、江東区・青海の「日本科学未来館」を見学しました。協力員同士の懇親と交流を深め有意義な時間を過ごしました。

地域の子ども達とのふれあい

北山小学校・第48回入学式

令和7年4月7日(月)

あいさつ運動の一環として、毎年北山小学校の入学式に初登校する新一年生と保護者にお祝いの声掛けを行っています。今年も元気なピカピカの新一年生51名(2クラス)が、少し大きめの色とりどりのランドセルを背負い満開に咲いた桜の正門を笑顔で入学式に向いました。



多摩湖町福祉協力員の紹介

一丁目

★●石橋 歌子
●浅見 美智子
小澤 道子
田口 なみ子
田中 嘉津子
寺山 富子
榊崎 美智子
深野 真弓
渡辺 伊佐代
小俣 武市 ※8月加入の新協力員

二丁目

●神津 道子
大野 清吉
木崎 朗子
斎藤 龍星
清水 好江
庄司 由規子
武田 泰子
土井 英子

三丁目

●清水 敦子
石橋 三枝子
石橋 淑子
泉 マヤ
小野寺 光子
増子 正子

四丁目

●浅見 桂子
大熊 鎮成
小林 園子
田口 美知子
前山 留美子
横田 せつ子

西武園住宅

●寺島 晶子
○水谷 文
太田 隆貴
鯨井 佳子
広瀬 靖子

都営住宅

佐々木 昭雄

★地区長 ●民生児童委員・老人相談員 ○主任児童委員

(令和7年7月現在)

この他にも活動、配布に多くの方にご協力頂いております。

あとがき

7月25日厚労省が最新の平均寿命(2024簡易生命表)を公表しました。男性が81.09歳、女性が87.13歳で、現在の日本最高齢は114歳の女性です。ちなみに女性の平均寿命はこの40年間、不動の世界首位で男性は6位です。最近では100歳以上の長寿者を「センテナリアン」、110歳以上の方を「スーパーセンテナリアン」と世界共通で呼びます。センテナリアンの語源は「一世紀=センチュリー」が由来とされています。東村山市内でも今年100歳を迎えられる方が40名、100歳以上は既に96名おられます。その内多摩湖町内には、新たに100歳の百寿者が4名、100歳以上のセンテナリアンが8名在住されています(7月1日現在)。

市内最高齢は2名の108歳の女性で、富士見町と多摩湖町に在住されています。近い将来に、我が町から「スーパーセンテナリアン」が誕生されるかも知れませんね。地域住民の誰もが安心して年を重ね、その人らしく普通の生活が営める地域づくりと、互助・共助の支えあいのやさしい町で在りたいと願います。

(寺島 晶子)